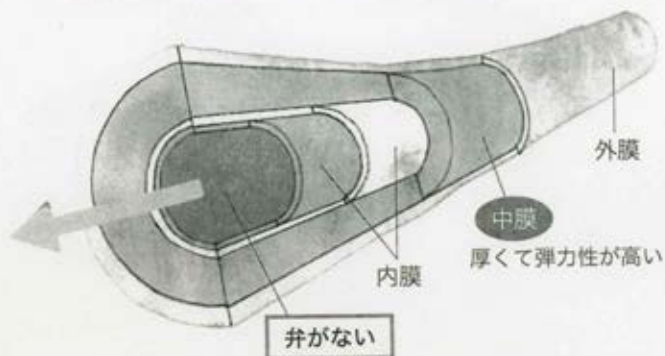
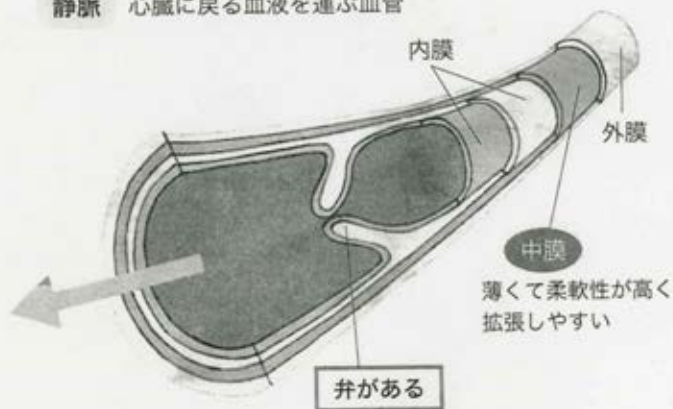


動脈と静脈

動脈 血液を心臓から体の各部へ運ぶ血管



静脈 心臓に戻る血液を運ぶ血管



「静脈」が拡張して起こります ハンドベインは

◎ 静脈は動脈より拡張しやすい性質があります

血管は「動脈」と「静脈」に大別されます。ハンドベインの方の手や腕に浮き出ている血管は「静脈」です。

動脈は、酸素と栄養素をたっぷり含んだ血液を、心臓から全身の細胞へ運ぶ役割を担っています。これに対して、酸素と栄養素を運び終えた血液を全身から回収し、心臓へ戻す働きをしているのが静脈です。

静脈は、動脈より血管の穴（内腔）が大きく、血管壁が薄い構造をしているため、やわらかくて拡張しやすい傾向があります。こうした性質を生かし、普段は血液をプールしておく貯蔵庫としての役割も果たしているのですが、何らかの理由で血流が障害されると、血管が拡張したままになってしまいます。